

# 水道事業会計

令和2年度下半期 大竹市水道事業損益計算書

(令和2年10月1日から令和3年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 給水収益	219,311,414		
(2) その他営業収益	14,246,245	233,557,659	
2 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	117,010,390		
(2) 給配水費	47,982,239		
(3) 業務費	21,983,071		
(4) 総係費	22,248,603		
(5) 減価償却費	147,008,403		
(6) 資産減耗費	9,085,567	365,318,273	
営業損失(△)			△ 131,760,614
3 営業外収益			
(1) 受取利息	6,783		
(2) 他会計補助金	1,395,604		
(3) 負担金	18,890,669		
(4) 長期前受金戻入	49,036,356		
(5) 資本費繰入収益	621,000		
(6) 雑収益	971,863	70,922,275	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	5,887,114		
(2) 雑支出	0	5,887,114	65,035,161
経常損失(△)			△ 66,725,453
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	0		
(2) 退職給付引当金戻入額	1,586,000	1,586,000	
6 特別損失			
(1) 固定資産売却損	0		
(2) 過年度損益修正損	7,762		
(3) その他特別損失	0	7,762	1,578,238
当期純利益			△ 65,147,215
前期繰越利益剰余金			223,661,305
その他未処分利益剰余金変動額			0
当期末未処分利益剰余金			158,514,090

# 令和2年度大竹市水道事業貸借対照表

(令和3年3月31日)

## 資産の部

1 固定資産	円	円	円	円
(1) 有形固定資産				
イ 土地		203,423,489		
ロ 建物	333,648,578			
減価償却累計額	<u>△ 132,733,208</u>	200,915,370		
ハ 構築物	5,975,598,913			
減価償却累計額	<u>△ 3,477,683,334</u>	2,497,915,579		
ニ 機械及び装置	1,147,986,398			
減価償却累計額	<u>△ 865,099,828</u>	282,886,570		
ホ 車両運搬具	1,570,669			
減価償却累計額	<u>△ 1,482,621</u>	88,048		
ヘ 工具、器具及び備品	6,559,180			
減価償却累計額	<u>△ 6,167,090</u>	392,090		
ト 建設仮勘定		96,735,377		
有形固定資産合計			3,282,356,523	
(2) 無形固定資産				
イ 施設利用権		6,356,167		
無形固定資産合計			6,356,167	
(3) 投資その他の資産				
イ 長期貸付金		660,000,000		
ロ 投資有価証券		100,000,000		
投資その他の資産合計			760,000,000	
固定資産合計				4,048,712,690
2 流動資産				
(1) 現金預金			1,414,702,169	
(2) 未収金		27,848,489		
貸倒引当金		<u>△ 1,578,583</u>	26,269,906	
(3) 貯蔵品			3,423,478	
(4) その他流動資産			405,727	
流動資産合計				1,444,801,280
資産合計				<u>5,493,513,970</u>

負債の部

	円	円	円	円
<b>3 固定負債</b>				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		584,825,332		
企業債合計		<u>584,825,332</u>	584,825,332	
(2) 引当金				
イ 修繕引当金		6,790,000		
ロ 退職給付引当金		50,839,000		
引当金合計		<u>57,629,000</u>	57,629,000	
固定負債合計				642,454,332
<b>4 流動負債</b>				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債		48,888,509		
企業債合計		<u>48,888,509</u>	48,888,509	
(2) 引当金				
イ 賞与引当金		4,903,151		
ロ 法定福利費引当金		940,151		
引当金合計		<u>5,843,302</u>	5,843,302	
(3) 未払金			115,583,860	
(4) その他流動負債			96,173,153	
流動負債合計			<u>266,488,824</u>	266,488,824
<b>5 繰延収益</b>				
長期前受金			2,429,777,274	
収益化累計額			<u>△ 1,398,349,095</u>	
繰延収益合計				1,031,428,179
負債合計				<u>1,940,371,335</u>

資 本 の 部

6 資 本 金	円	円	円	円
(1) 自 己 資 本 金				
イ 固 有 資 本 金		34,905,000		
ロ 組 入 資 本 金		<u>2,021,354,623</u>		
自己資本金合計			<u>2,056,259,623</u>	
資本金合計				<u>2,056,259,623</u>
7 剰 余 金				
(1) 資 本 剰 余 金				
イ 受 贈 財 産 評 価 額		151,787,510		
ロ 工 事 負 担 金		419,430,041		
ハ 他 会 計 負 担 金		199,424,065		
ニ 補 助 金		<u>74,827,306</u>		
資本剰余金合計			845,468,922	
(2) 利 益 剰 余 金				
イ 減 債 積 立 金		87,500,000		
ロ 建 設 改 良 積 立 金		405,400,000		
ハ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金		<u>158,514,090</u>		
利益剰余金合計			<u>651,414,090</u>	
剰余金合計				<u>1,496,883,012</u>
資本合計				<u>3,553,142,635</u>
負債資本合計				<u>5,493,513,970</u>

# 令和2年度下半期 注記表

## I 重要な会計方針

### 1 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品 先入先出法による原価法

### 2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く。)

- ・ 減価償却の方法

定額法

- ・ 主な耐用年数

建物	38 ～ 65 年
構築物	10 ～ 60 年
機械及び装置	5 ～ 40 年
車両運搬具	2 ～ 5 年
工具、器具及び備品	3 ～ 20 年

(2) 無形固定資産

- ・ 減価償却の方法(リース資産を除く。)

定額法

- ・ 耐用年数

施設利用権 15 ～ 20 年

(3) リース資産

- ・ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

- ・ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

地方公営企業法施行規則第55条第2号の規定により、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

### 3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

- ・ 職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における職員に対する退職手当の要支給額(57,162,000円)から、広島県市町総合事務組合における積立金相当額(6,323,000円)を控除した金額を計上している。

(2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

- ・ 職員の期末・勤勉手当の支給及びこれに係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 貸倒引当金

- ・ 債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等により回収不能見込額を計上している。

(4) 修繕引当金

- ・ 平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととしている。

### 4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

## II 貸借対照表等関連

企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は32,676,940円である。

## III リース契約により使用する固定資産

賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に関する事項

未経過リース料相当額

1年内 5,648,211 円

1年超 11,289,522 円

計 16,937,733 円

## IV その他の注記

賞与引当金及び法定福利費引当金の取崩し

令和2年度において、期末勤勉手当を支給するため、賞与引当金4,693,509円、法定福利費引当金898,359円を取り崩した。

貸倒引当金の取崩し

令和2年度において、不納欠損処理のため、77,965円を取り崩した。

# 令和2年度下半期 大竹市水道事業報告書

## 1 概況

### (1) 総括事項

水道事業は、給水人口の減少等による使用水量の減少に伴って、料金収入が年々減少傾向にあり、経営的には非常に厳しい状況となっています。

今年度においては、いわゆる巣ごもり需要に伴う家事用の使用水量の増加及び経費の削減等の取組により、黒字とはなりましたが、営業収支では依然として営業損失を計上しており、より一層の経営の健全化が求められます。

水道事業の財政運営は、今後も一段と厳しいものになっていくものと想定されますが、水道事業経営戦略に基づき、水道事業のあるべき姿である「いつでも安全で安定した水の供給」の実現に向けてさらに取り組んでいきます。

### ① 営 業

令和2年度下半期の有収水量は、1,669,915<sup>m</sup>（1日平均9,076<sup>m</sup>）で、令和2年度上半期と比較して80,501<sup>m</sup>（5.1%）の増加となりました。

### ② 建設改良（消費税及び地方消費税込み）

本年度下半期に実施した主な工事は、以下のとおりです。

・白石一丁目地内配水管改良工事	29,573,500円
・防鹿水源地遠方監視装置（小方・立戸・大竹）更新工事	15,950,000円
・防鹿水源地遠方監視装置（阿多田）更新工事	15,400,000円
・防鹿水源地仮設膜ろ過設備設置工事	12,320,000円

### ③ 経理の状況（消費税及び地方消費税抜き）

令和2年度下半期における収支の状況は次のとおりです。

収益的収支	収入総額	296,065,934円
(消費税及び地方消費税抜き)	支出総額	371,213,149円
	差引損失額	75,147,215円

資本的収支	収入総額	58,902,451円
(消費税及び地方消費税込み)	支出総額	162,373,367円
	差引不足額	103,470,916円



(2) 議会の議決事項

① 予算決算に関する事項

議案番号	件名	議決年月日
議案第9号	令和3年度大竹市水道事業会計予算	R3. 3. 25

② 条例に関する事項

該当事項なし

(3) 行政官庁の認可事項

該当事項なし

(4) 職員に関する事項

① 職員数

職名	令和2年度				令和元年度 年度末現在	比較 増減
	年度当初	年度内増加	年度内減少	年度末現在		
事務職員	3名	0名	0名	3名	5名	△2名
技術職員	6	0	0	6	4	2
合計	9	0	0	9	9	0

② 職員の平均給与

平均給料月額	平均年齢	平均勤続年数	人員	備考
317,672円	41歳6ヶ月	16年1ヶ月	9名	

③ 給与改定

該当事項なし

(5) 料金その他供給条件の設定、変更に関する事項

該当事項なし

2 工事の概況

(1) 建設工事及び改良工事の概況

※令和2年度通期

工 事 名	工 事 内 容	総工事費	着工期日 竣工期日	備 考
(原水浄水設備改良事業)		円	年月日	
防鹿水源地無停電電源装置更新工事	無停電電源装置(本体・蓄電池)更新 一式	3,678,400	R 2. 7.16 R 3. 1.22	
防鹿水源地仮設膜ろ過設備設置工事	仮設膜ろ過設備設置 一式	12,320,000	R 2. 9.15 R 3. 3.31	
防鹿水源地遠方監視装置(阿多田)更新工事	阿多田加圧ポンプ場遠方監視装置更新 一式 阿多田本浦配水池遠方監視装置更新 一式 阿多田本浦配水池滅菌装置制御盤更新 一式	15,400,000	R 2. 9.24 R 3. 3.19	
防鹿水源地遠方監視装置(小方・立戸・大竹)更新工事	小方・立戸遠方監視装置更新 一式 大竹配水池遠方監視装置更新 一式	15,950,000	R 2.10. 7 R 3. 3.24	
防鹿水源地膜ろ過装置用警報設置工事	膜ろ過装置用警報設置 一式	374,000	R 2.12.24 R 3. 2.12	
防鹿水源地3号ろ過池上部・下部トレインバルブ更新	3号緩速ろ過池トレインバルブ更新 一式	1,192,400	R 3. 3. 8 R 3. 3.24	
小 計		48,914,800		
(配水設備拡張事業)		円	年月日	
県道乙瀬小方線配水管拡張工事	配水管布設工 ポリエチレン管(HPPEφ50) L=15.7m	682,000	R 2. 8. 7 R 2. 9.30	
御園6号線配水管改良工事	配水管布設工 ポリエチレン管(HPPEφ50) L=14.52m 塩化ビニル管(HIVPφ25) L= 3.90m	1,299,100	R 2. 9.11 R 2. 9.30	
立戸12号線配水管拡張工事	配水管布設工 ポリエチレン管(HPPEφ50) L=21.5m	1,298,000	R 3. 2. 1 R 3. 2.26	
立戸地区浸水対策工事(R2工区)に伴う配水管拡張工事	配水管布設工 ポリエチレン管(HPPEφ50) L=64.0m	836,000	R 3. 3. 1 R 3. 3.26	
小 計		4,115,100		
(配水設備改良事業)		円	年月日	
大竹配水池可搬式追塩装置設置工事	大竹配水池可搬式追塩装置設置 一式	990,000	R 2. 6. 8 R 2. 7.31	
阿多田本浦配水池次亜注入器更新工事	阿多田本浦配水池次亜注入器更新 一式	695,200	R 2. 9. 2 R 2.12.25	
大竹配水池制御回路改良工事	大竹配水池制御回路改良 一式	509,300	R 2. 9.28 R 2.10.30	
本町二丁目・新町三丁目地内配水管改良工事		11,000,000	R 2.10.12 R 3. 5.28	令和3年度へ繰越 (総工事費は前払分)
白石一丁目地内配水管改良工事	配水管布設工 ポリエチレン管(HPPEφ100) L= 13.06m ポリエチレン管(HPPEφ75) L=134.80m ポリエチレン管(HPPEφ50) L=203.66m 塩化ビニル管(HIVPφ40) L= 1.10m 塩化ビニル管(HIVPφ25) L= 6.75m 既設管撤去工 塩化ビニル管(VPφ100) L=186.76m 塩化ビニル管(VPφ50) L= 87.01m モルタル充填工 鋳鉄管(MDIPφ100) L=17.10m	29,573,500	R 2.10.21 R 3. 3.31	

工 事 名	工 事 内 容	総工事費	着工期日 竣工期日	備 考
御園二丁目地内配水管 改良工事	配水管布設工 ポリエチレン管(HPPEφ50) L=33.8m ポリエチレン管(PEφ50) L=20.0m 既設管撤去工 塩化ビニル管(VPφ50) L=31.0m ポリエチレン管(PEφ25) L=43.9m	2,194,500	R 3. 1.22 R 3. 3.31	
岩国大竹道路事業に伴う 送配水管・工業用水 道管移設工事 (水道事業会計分)	配水管布設工 鋳鉄管(DCIP GX形φ200) L=321.0m ポリエチレン管(HPPEφ150) L=312.0m 既設管撤去工 鋳鉄管(CIPφ150) L=3.0m	21,638,759	R 1.12.13 R 2. 8.31	令和元年度繰越事業 (総工事費は繰越分)
小 計		66,601,259		
合 計		119,631,159		

(2) 保存工事の概況

※令和2年度通期

区 分	工 事 内 容	工 事 費			備 考
		修繕費等	材料費	計	
原 水 及 び 浄 水 設 備	上水No.2送水ポンプ修繕 外6件	9,332,400	0	9,332,400	
給 配 水 設 備	湯舟第二配水槽揚水ポン プ盤修繕外31件	12,462,040	0	12,462,040	
量 水 器 設 備	量水器取替工事 (委託)	5,567,064	0	5,567,064	
合 計		27,361,504	0	27,361,504	

3 量水器の設置及び取替状況

種 別	前年度未 設置数	当 年 度 設置数	当 年 度 減少数	年度末現在 設置数	当 年 度 取替個数
13mm	8,224	34	9	8,249	850
20mm	6,107	87	3	6,191	888
25mm	660	2	0	662	90
40mm	191	1	0	192	21
50mm	86	0	0	86	12
75mm	24	1	0	25	0
100mm	14	0	0	14	1
150mm	3	0	0	3	0
合 計	15,309	125	12	15,422	1,862

### 3 業 務

#### (1) 業務量

##### ① 年度末給水戸数及び給水人口

年度別	令和3年3月31日		令和2年9月30日		比 較			
種 別	給水戸数	給水人口	給水戸数	給水人口	給水戸数		給水人口	
					増 減	比 率	増 減	比 率
	戸	人	戸	人	戸	%	人	%
上水道	12,676	26,127	12,640	26,216	36	100.3	△89	99.7

##### ② 配水量及び有収水量

種 別	年度別	令和2年度下半期	令和2年度上半期	比 較	
				増 減	比 率
		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	%
配水量	水源地	1,755,750	1,684,370	71,380	104.2
	県用水	379,758	369,545	10,213	102.8
	合計	2,135,508	2,053,915	81,593	104.0
1日平均配水量		11,606	11,348	258	102.3
1日最大配水量		R3.1.11 15,627	R2.2.19 12,440	3,187	125.6
有収水量		1,669,915	1,589,414	80,501	105.1
1日平均有収水量		9,076	8,781	295	103.4
有収率		78.2%	77.4%	0.8%	101.1

※上水道は、2ヶ月後に料金が賦課されるので、配水量は2月から1月までが年度期間。

5 会 計

(1) 重要契約の要旨

① 工事請負契約

※令和2年度通期

契約年月日	契約額	契約内容	契約の相手方
	円		
R1. 12. 13 R2. 8. 14	84,040,000 7,585,600 (91,625,600)	岩国大竹道路事業に伴う送配水管・工業用水道管移設工事〔令和元年度発注分〕	(株)竹内 大竹営業所
	35,082,759	上記のうち水道事業対象額	
R2. 9. 15 R3. 1. 22	12,320,000 —	防鹿水源地仮設膜ろ過設備設置工事	理水化学(株) 広島支店
R2. 9. 24	15,400,000	防鹿水源地遠方監視装置(阿多田)更新工事	(株)明電エンジニアリング 中国支店
R2. 10. 7	15,950,000	防鹿水源地遠方監視装置(小方・立戸・大竹)更新工事	(株)明電エンジニアリング 中国支店
R2. 10. 12	27,500,000	本町二丁目・新町三丁目地内配水管改良工事	古江組木材工業(株)
R2. 10. 21 R3. 3. 29	27,500,000 2,073,500 (29,573,500)	白石一丁目地内配水管改良工事	(株)三洋技建

二段書きは上段が当初契約、下段が変更契約、( )内は合計額

② 業務委託契約

※令和2年度通期

契約年月日	契約額	契約内容	契約の相手方
	円		
R2. 2. 25 R3. 3. 31	731,280,000 △ 9,219,007 (722,060,993)	大竹市防鹿水源地等運転管理業務 (工業用水道事業との共同契約額) 契約期間：R2. 2. 25～R7. 3. 31	(株)ジェイ・チーム 西部支店
	110,351,759	上記のうち令和2年度水道事業対象額	
R1. 5. 31	16,500,000 3,850,000	大竹市水道・工業用水道・下水道事業 経営戦略策定等業務 (工業用水道事業・公共下水道事業との共同契約額) 契約期間：R1. 5. 31～R3. 2. 26	(株)N J S 広島事務所

多段書きは上段が当初契約、二段目以降が変更契約、( )内は合計額

③ その他の契約

※令和2年度通期

契約年月日	契約額	契約内容	契約の相手方
H30.10.25	円 38,536,560	大竹市上下水道料金システム及び大竹市公営企業会計システム等一式に係る貸借契約 (工業用水道事業・公共下水道事業との共同契約額) 契約期間：H30.10.25～R6.3.31	(株)日立システムズ 中国支社
	5,944,548	上記のうち令和2年度水道事業対象額	日立キャピタル(株)

二段書きは上段が当初契約、下段が変更契約、( )内は合計額

(2) 企業債及び一時借入金の概況

① 企業債の概況

※令和2年度通期

区分	借入先	前年度末残高	当年度借入高	当年度償還高	当年度末残高
水道事業	財務省	円 136,520,026	円 0	円 21,934,602	円 114,585,424
	地方公共団体 金融機構	504,185,513	41,700,000	26,757,096	519,128,417
	合計	640,705,539	41,700,000	48,691,698	633,713,841

② 一時借入金の概況

該当事項なし

(3) その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし

(4) 受贈財産の取得状況

※令和2年度通期

受贈年月日	種類		譲渡者名	受贈財産評価額
R2.6.17	配水管	松ヶ原町鶉池地区 H P P E φ 50 L = 48.0m	広島県	円 340,000
R3.3.18	配水管	玖波二丁目地内 H P P E φ 75 L = 102.66m H I V P φ 25 1箇所 ソフトシール仕切弁 φ 75 1基 フライングゲートバルブ 1基	東亜地所(株)	1,802,000
合計				2,142,000